

生徒の皆さんへ

私たち委員全員は、生徒の皆さんが書いたアンケートを読む作業から始めました。そのアンケートには、A君の死を防げなかったということに対する強い自責の念や同級生の行為を告発することになることへの抵抗感といった感情の中で、一生懸命書いている姿が思い浮かびました。私たちを含めた大人は皆さんが語った事実に誠実に向かうべき責務があると感じました。そして、私たち委員は全力を傾注して作業をしていこうと決意しました。

皆さんが勇気を奮って事実を語ったことをどうか誇りに思ってください。人は誰でも失敗や過ちを犯します。しかし、人はその失敗から目を背けてはいけません。失敗を真摯に見つめ、何故失敗したのか、それをしないためにどうしたらいいのかについて考えることによって、人や社会は成長していくと思います。失敗を見つめるためには、失敗の内容つまり事実を冷静に見つめなければなりません。

亡くなったA君の命は帰ってきません。残された皆さんだけでなく私たち大人も含めA君の死を無駄にしてはならないという使命があると思います。そのためには、A君に何があったのかという事実を知ることから始めなければなりません。

かつて、A君と同じように命を絶った子どもたちが多くいます。中にはいじめが原因ではないかと言われたものの、原因不明とされてきた事件も少なくありません。

しかし、A君については、皆さんが事実を語ってくれたために、それが解明の拠り所となり、今日この報告書を完成させることができました。皆さんの語った事実は、多くの教訓や再発防止策の提言につながりました。

どうか皆さんが事実を語ったことを後悔しないでください。皆さんはA君の死を無駄にしないために最も大切な貢献をしたのだから。

事実を知るとは他にも重要な効用があります。

一つは、A君の遺族の再生の力になるということです。遺族の方々は今でも時間が止まった状態でA君の死を受け入れられず、これからどのように次の一步を歩むべきか判らない状態だと思います。確かに、A君に起きた出来事を知ることは新たな悲しみや苦痛を生み出すかもしれませんが、しかし、深い愛情で繋がった家族は、事実を知ることによって、不幸に見舞われた家族の一人の苦痛を共有することによって、初めて深い自責の念の楔から脱することができるきっかけをつかむのです。そして、その死が、社会全体がより改善する方向で教訓を生み出すことを理解したとき、新たな一步を踏み出すことができるようになるのです。これがA君の名誉の回復です。

次に、事実の解明は、いじめを行った子どもたちの将来にとって大きな役割を果たすものと思います。今は無理でも将来自分たちの行為を冷静に客観的に見つめることによって初めて自分たちの行為の意味を理解できるようになると思います。人はだれでも責任を回避あるいは不合理な非難や中傷から防御的となります。A君の死以後

のマスコミやインターネットでのプライバシーを侵害した情報の氾濫は異常でした。こうした混乱の中で、彼らが冷静に自らの行為を見つめ直すことは不可能だったと思います。しかし、もう少し時間が経って落ち着いた時に改めて事実を振り返ることは彼らにも是が非でも必要です。その時に皆さんが語った事実は、彼らにとって重要な価値を持つと確信しています。

以上のように、皆さんが真実を語ったということはかけがえがないほど重要なことなのです。このことが皆さんに誇りを持ってほしいと求めた根拠です。これからも皆さんの人生は続きます。その過程には当然苦難もあると思います。その時にどうか冷静に事実を見つめ進むべき方向を決めることの重要性を思い出してほしいと思います。

最後にもう一つのお願いは、大人たちの現状に鑑みると、学校からいじめを無くすことは容易なことではなく、勇気をもって事実を語った皆さんが、将来、知恵と勇気を得た大人として、学校からいじめを無くすための取り組みをしてほしいと期待しています。